

道徳の副教材に！ 「朝の読書」に！

中学校道徳学習指導要領に完全準拠

13歳からの道徳教科書

道徳教育をすすめる有識者の会・編



美しい話を伝えよう

道徳教育の一つの道は、私たちが「美しい」と感ずるような話を子供たちに伝えることではないかと思います。健全な少年少女にとって、美しい、ためになる話は、同時に面白いのです。教室で偉人の話をすれば、子供たちの目は必ず輝くはずです。私たちは世界中の美しい話、いい話、そして特に日本人の行った素晴らしい話を子供たちに伝えるべきでしょう。(まえがきより)

道徳教育をすすめる有識者の会 代表世話人/上智大学名誉教授 渡部 昇一

感動を呼ぶ実話資料が満載！

魂をゆり動かす手紙——吉田松陰 ◇ 自主・自律、誠実、責任
なりたいたいものになるために——イチロー ◇ 反省、自己の向上、個人の伸長
ゼロからの出発——山口良治 (伏見エラグビー部総監督) ◇ 立志、希望、勇氣、強い意思
村にきた人たち——藤沢周平 ◇ 正義、公正・公平、差別・偏見の克服
私が二十四歳のときにかいた恥——草柳大蔵 ◇ 礼儀、適切な言葉
一人で世間は渡れない——本田宗一郎 ◇ 感謝
……など全 37 話を収録。

授業指導案は弊社ホームページに掲載

これがパイロット版
教科書だ!

新しい道徳
のスタンダード

発行:育鵬社 発売:扶桑社
A5判並製 292頁
定価:1,200円(税込)

各地の教育委員会、国公立小学校・中学校・高校で採用続々！

全中学校、約 1000 人の生徒に配布を決定！

日本人が文化的なDNAとして継承しているはずの美德をきちんと教え、目を背けることなく社会に関わり、未来を見すえて目標を持って生きて行けるよう導くのが教師の役割だと思っています。

『13歳からの道徳教科書』は、こうした課題にしっかり答える教材が多く掲載されており、本書を広く推薦したいと思います。(『教育再生』平成24年7月号より抜粋)

三幣貞夫氏 (千葉県南房総市教育長)

公のために生きていく心を育てたい

実物を拝見した時「これなら本校の道徳教科書としてふさわしい内容であり、小学5・6年生でも十分理解できる」と確信し道徳の授業を始めています。

感動や感激がいっぱい詰まったこの教科書を使って、日本人が昔から大切にしてきた、先祖を敬い、家族を大切に、地域社会や公のために生きていく心を育てていきたいと考えています。

寺本豊氏 (津田学園小学校校長)

道徳が人間の基礎・基本を作る

子供たちの学力を伸ばすことや、スポーツで活躍する生徒を育てるために、一番いいことは人間の基礎・基本をつくることです。

それはもちろん道徳心の涵養ということです。そのためにこの本を十分に活用させてもらおうと思います。

森靖喜氏 (岡山学芸館清秀中学校・高等学校学園長)

子供たちの授業への取り組みが真剣になりました

今年度から、5・6年生の道徳の授業で『13歳からの道徳教科書』を使っています。子どもたちの道徳の授業に対する取り組みが、昨年度よりも真剣になりました。

「すごさ」の資料で、自分を犠牲にしてひたすら夫である牧野富太郎に尽くす寿衛婦人の生き方をどう思うか子どもたちに訊いたところ、殆どの子どもたちが「素晴らしいと思う」と答えていました。

私はこれを訊いて、現代っ子の心の中にも古き良き日本人のDNAが息づいていると思いました。これは、この本に掲載されている実話資料の力です。

山田誠氏 (筑波大附属小学校教諭)

●教育関係で使用するためにまとめて5冊以上ご購入の場合、弊社より特別価格で斡旋いたしますので、右記までご連絡ください。



育鵬社

〒105-0022 東京都港区海岸 1-15-1
TEL03-3432-8681 FAX03-3432-8689
E-mail info@ikuhosha.co.jp